

2026年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

2026年2月9日

証券コード:3741

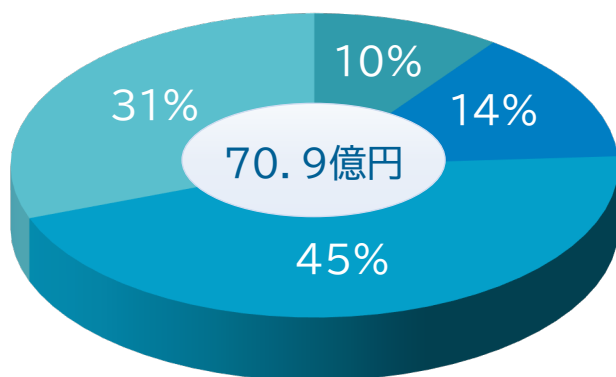


2026年3月期 第3四半期

決算概要

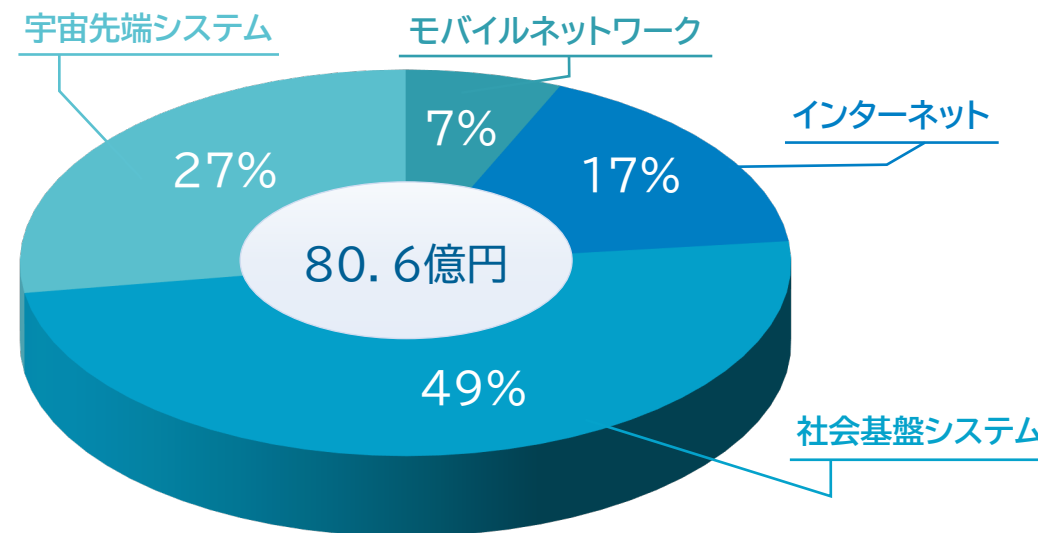
事業環境

IT需要は全体的には概ね堅調



2025年3月期第3四半期

需要構造の変化に応じ
柔軟に対応



2026年3月期第3四半期

モバイルネットワークBF

減少傾向が継続

インターネットBF

非接触IC関連の開発が増加したことに加え、民間企業向けのDX関連の開発も増加

社会基盤システムBF

医療分野や交通分野の開発が大幅に増加したことに加え、防衛分野の開発も増加

宇宙先端システムBF

車両自動走行の研究開発案件が堅調であることに加え、宇宙天文分野の開発が増加したものの、全体構成比では減少

2026年3月期第3四半期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高 前年同期比で増収増益

	当期（百万円）	前年同期比	利益率
売上高	8,068	113.8%	
営業利益	1,364	109.2%	16.9%
経常利益	1,474	111.8%	18.3%
当期純利益	1,034	112.2%	

受注高、受注残高ともに過去最高

	当期（百万円）	前年同期比
受注高	8,547	113.4%
受注残高	6,740	108.4%

先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

非接触IC関連の開発や、医療分野、交通分野の開発が増加するなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、増収増益となった。

受注高は前年同期を上回り過去最高となり、受注残高も過去最高となった。

第3四半期損益計算書

	2025年3月期第3四半期 (百万円)	2026年3月期第3四半期 (百万円)	前年同期比 (%)	期初予想 (百万円)	計画達成率 (%)
売上高	7, 0 9 3	8, 0 6 8	1 1 3. 8	—	—
売上原価	4, 9 3 5	5, 6 3 9	1 1 4. 3	—	—
売上総利益	2, 1 5 7	2, 4 2 9	1 1 2. 6	—	—
販売管理費	9 0 8	1, 0 6 4	1 1 7. 2	—	—
営業利益 (営業利益率)	1, 2 4 9 (1 7. 6 %)	1, 3 6 4 (1 6. 9 %)	1 0 9. 2	—	—
経常利益 (経常利益率)	1, 3 1 9 (1 8. 6 %)	1, 4 7 4 (1 8. 3 %)	1 1 1. 8	—	—
当期純利益	9 2 2	1, 0 3 4	1 1 2. 2	—	—

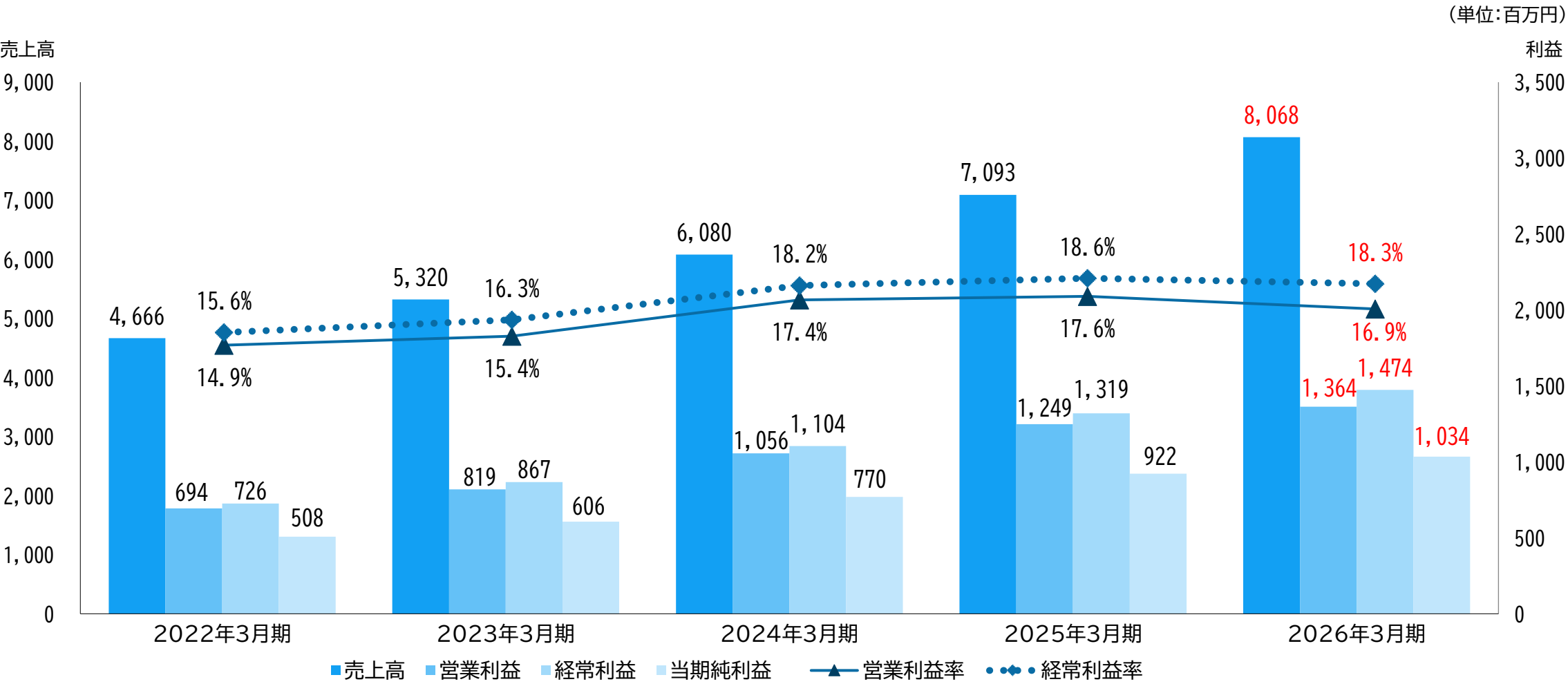
売上原価 仕入高(460百万円、前年同期比443.4%増)、外注費(291百万円、前年同期比9.7%増／売上高外注比率36.1%、前年同期比1.3%減)が大幅に増加、定期昇給・ベースアップにより人件費が増加

販売管理費 新入社員の増加、定期昇給・ベースアップにより労務費が増加、研究開発費は144百万円で、前年同期比で46.3%増

営業外損益 研究開発の補助金収入が大幅に増加(56百万円、前年同期比141.1%増)

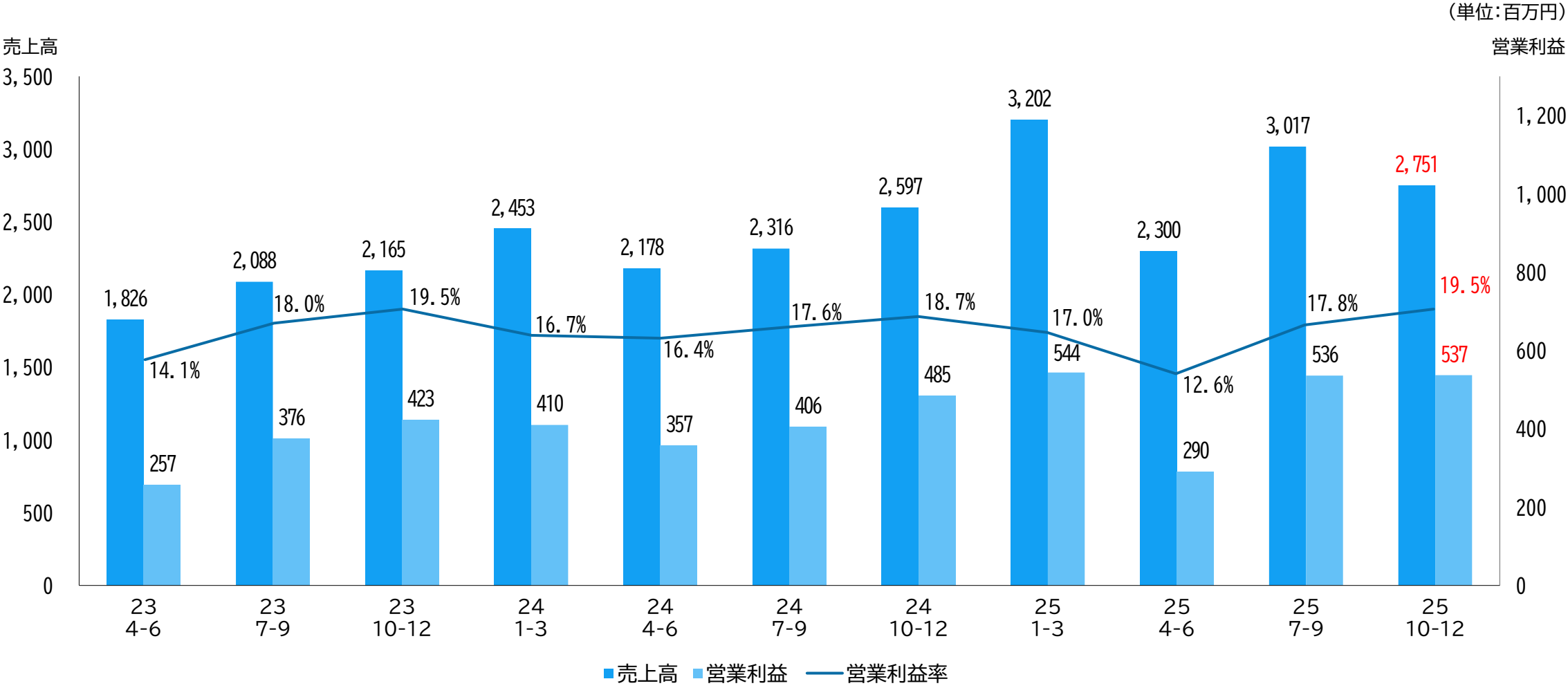
第3四半期決算業績推移(過去5年)

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全てで過去最高



四半期業績推移(PL)

14四半期連続の増収増益の後、第1四半期は増収減益となったが、第2四半期から2四半期連続の増収増益

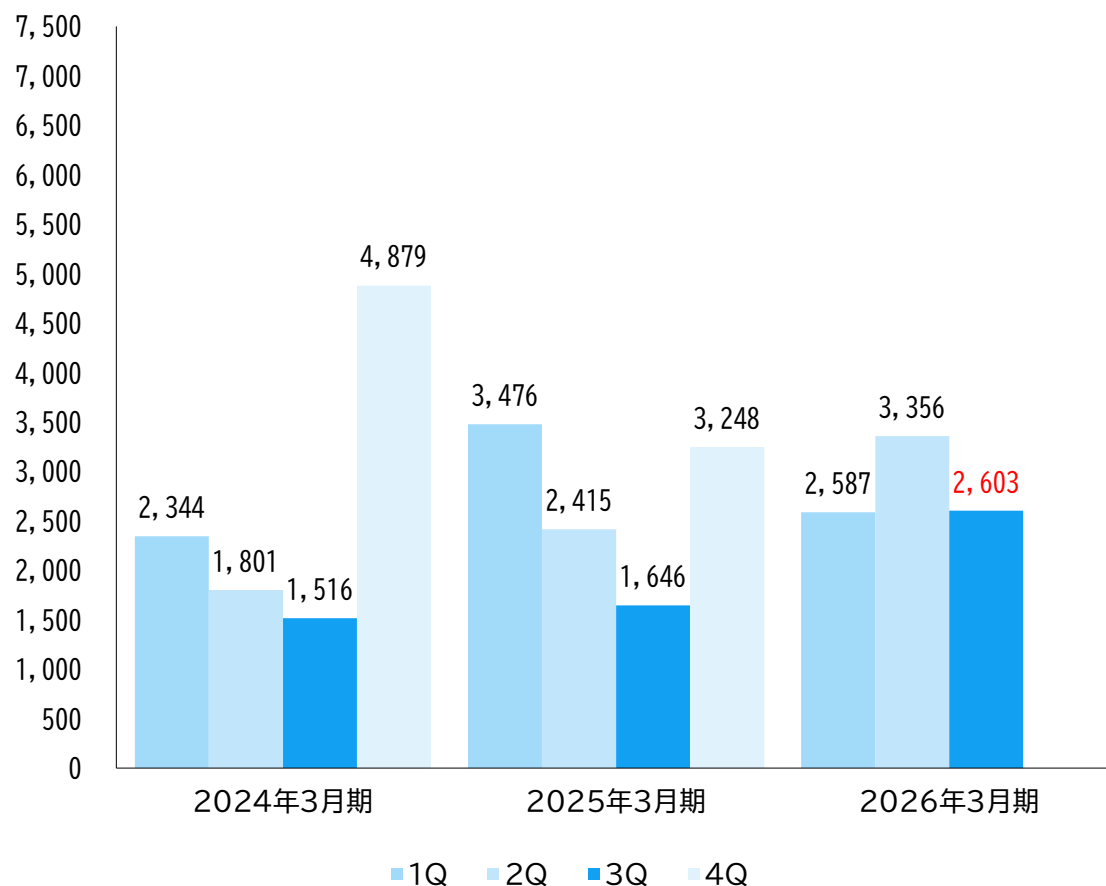


四半期業績推移(受注状況)

受注高、受注残高ともに過去最高

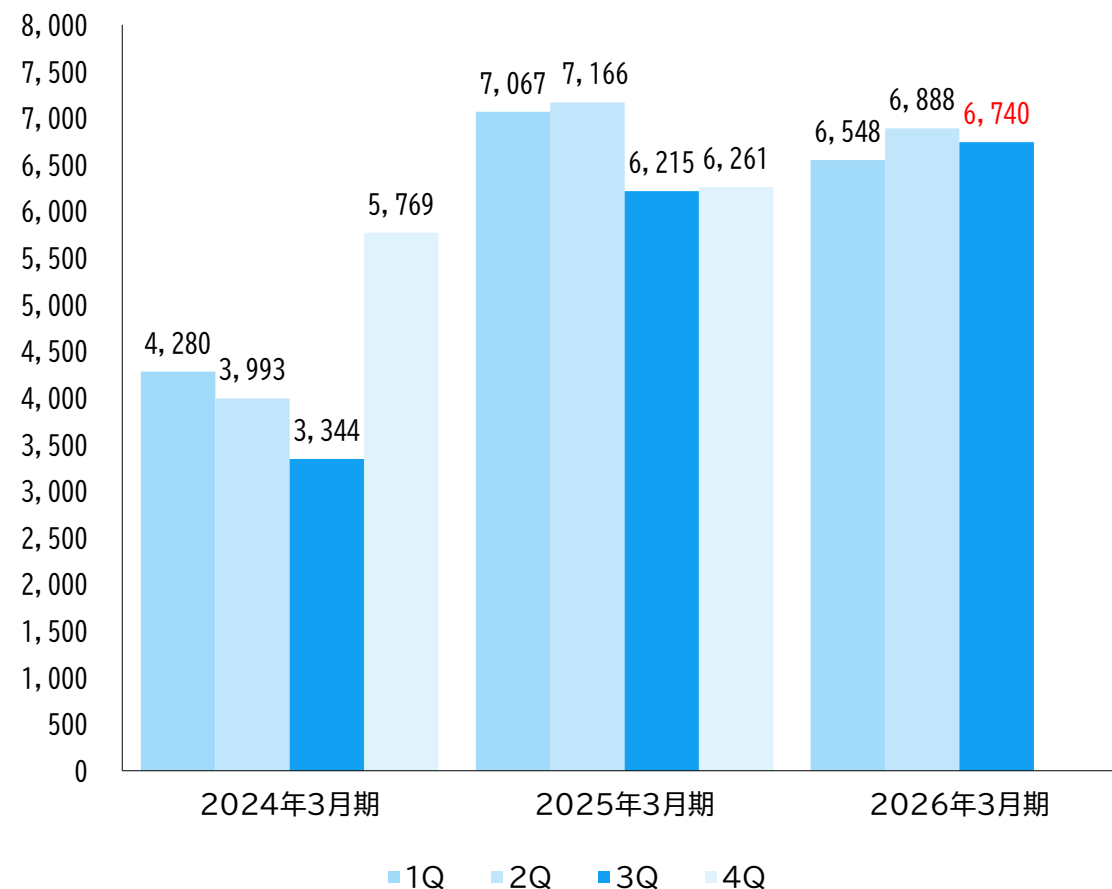
(単位:百万円)

受注高



(単位:百万円)

受注残高



第3四半期BF別の状況

インターネットBF、社会基盤システムBF、宇宙先端システムBFが増加

ビジネスフィールド	2025年3月期第3四半期		2026年3月期第3四半期		
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
モバイルネットワーク	711	10.0	530	6.6	74.5
インターネット	993	14.0	1,342	16.6	135.0
社会基盤システム	3,213	45.3	3,977	49.3	123.8
宇宙先端システム	2,174	30.7	2,218	27.5	102.0
合計	7,093	100.0	8,068	100.0	113.8

- モバイルネットワークBFは、減少傾向が継続
- インターネットBFは、非接触IC関連の開発が増加したことに加え、民間企業向けのDX関連の開発も増加
- 社会基盤システムBFは、医療分野や交通分野の開発が大幅に増加したことに加え、防衛分野の開発も増加
- 宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件が堅調であることに加え、宇宙天文分野の開発が増加

第3四半期BF別受注状況

インターネットBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2025年3月期第3四半期		2026年3月期第3四半期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
モバイルネットワーク	673	195	560	83.2	208	106.6
インターネット	993	323	1,321	132.9	408	126.5
社会基盤システム	3,842	4,952	4,497	117.0	5,352	108.1
宇宙先端システム	2,029	743	2,168	106.9	769	103.6
合計	7,539	6,215	8,547	113.4	6,740	108.4

※ 受注残高のうち、今期売上貢献分は2,891百万円(前年同期比4.0%減)、来期以降売上貢献分は3,849百万円(前年同期比20.1%増)

- モバイルネットワークBFは、全体的に減少傾向
- インターネットBFは、非接触IC関連や民間企業向けのDX関連の受注が増加
- 社会基盤システムBFは、官公庁向けの受注が増加
- 宇宙先端システムBFは、サービスロボットの研究開発案件や宇宙天文分野の受注が増加

2026年3月期

通期業績見通し

2026年3月期業績見通し

概ね計画範囲内であり、業績予想は据え置く

	2025年3月期実績(百万円)	2026年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	10,295	10,700	103.9
売上原価	7,224	7,470	103.4
売上総利益	3,070	3,230	105.2
販売管理費	1,277	1,390	108.8
営業利益 (営業利益率)	1,793 (17.4%)	1,840 (17.2%)	102.6
経常利益 (経常利益率)	1,893 (18.4%)	2,010 (18.8%)	106.1
当期純利益	1,344	1,395	103.8

売上高 前期と同様の需要環境を見込み、官公庁主体の社会基盤分野のビジネスを中心に推進し、前期比約4%増を見込む

売上原価 社員数増加や、定期昇給に加え大幅なベースアップによる人件費の増加、仕入高の増加などにより、増加を見込む









販売管理費 新入社員の増加などによる労務費の増加、研究開発の増加などにより、増加を見込む

営業外損益 研究開発の補助金収入の増加などにより、増加を見込む

当期純利益 前期は賃上げ促進税制の適用により増加したが、今期は税金費用を法定実効税率どおりで計算

2026年3月期BF別業績見通し

インターネットBF、社会基盤システムBF、宇宙先端システムBFが増加する見込み

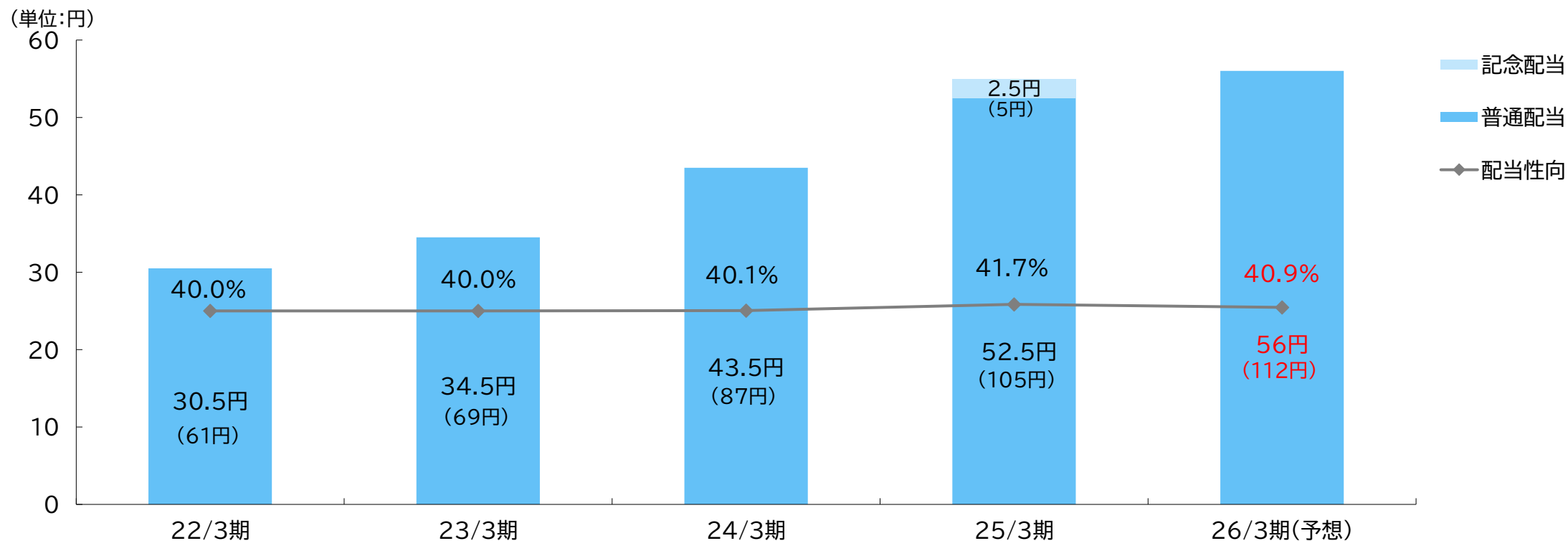
ビジネス フィールド	期初の想定	予想	第3四半期状況判断	予想
モバイル ネットワーク	前期と同様の環境が継続し、減少		前期と同様の環境が継続しており、ほぼ 想定通りの展開	
インターネット	非接触IC関連の開発が堅調であること に加え、民間企業向けのDX関連の開発 が増加し、増加		非接触IC関連の開発が堅調であること に加え、民間企業向けのDX関連の開発 が増加し、想定を上回る展開	
社会基盤 システム	環境分野や福祉分野をはじめとした官 公庁向けの開発が好調であることに加 え、医療分野の大型案件や防衛分野の 開発が増加し、増加		官公庁向けの開発が増加見込みである ことに加え、医療分野の大型案件や交通 分野、防衛分野の開発が増加し、ほぼ想 定通りの展開	
宇宙先端 システム	車両自動走行の研究開発案件や宇宙ロ ボット関連の開発が堅調であることに加 え、国の研究機関向けの開発が増加し、 増加		車両自動走行の研究開発案件が堅調で あることに加え、宇宙天文分野の開発が 増加し、ほぼ想定通りの展開	

配当の方針

配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2025年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。

2026年3月期は、株式分割の実施に伴い、配当予想を期初予想の1株当たり111円(分割後換算55.5円)から56円に修正。



※1株当たり配当金は、2022年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しております。

()は株式分割前の金額。

ご参考: ニュースリリース一覧(2025年11月~2026年2月)

2025年		2026年	
11月10日	<u>第69回宇宙科学技術連合講演会にてJAXAと共同で宇宙ロボティクスに関する口頭発表を実施</u>	1月15日	<u>ロボット開発技術探求プロジェクト「SETAGAYA Eclipse」がロボット競技エンジニア選手権CoRE-1に挑戦</u>
11月10日	<u>TSUKIMI観測シミュレータの開発に協力</u>	1月27日	<u>駐車場状況判断サービス「Rtrilo Parking Monitor」が西日本のパーキングエリアに採用</u>
11月10日	<u>「マルチタスクロボットによる建物の維持管理業務支援の実証検証」に協力</u>	1月31日	<u>ラジオNIKKEI & プロネクサス共催「企業IR & 個人投資家応援イベント」(名古屋)にて企業IRセミナーを開催</u>
11月21日	<u>International Conference on Space Robotics 2025 (iSpaRo2025)出展</u>	2月 4日	<u>個人投資家向け会社説明会(Webセミナー)を開催(2026年2月16日開催)</u>
11月26日	<u>ストックボイス「東京マーケットワイド」に代表取締役社長 櫻井が出演</u>		
12月 9日	<u>丸三証券「丸三レポート 2025年12月号」に当社社長インタビュー記事が掲載</u>		
12月10日	<u>「リアルタイム膀胱内視鏡検査支援システム」をCES2026 Japanパビリオンにてデモ展示</u>		
12月10日	<u>「世田谷デジタルものづくりフェス」小学生向け宇宙ロボットプログラミング体験会を開催(2025年12月25日・26日開催)</u>		
12月13日	<u>ラジオNIKKEI & プロネクサス共催「企業IR & 個人投資家応援イベント」(横浜)にて企業IRセミナーを開催</u>		

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、戦略、将来の業績に関する見通しなどが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものでなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。

